

RRS 中期目標・2025 年度短期目標の検討

■ RRS 中期目標（5 年先を見据えた目標）

2018 年度中期目標の設定に関しては様々な提案があり、運営会議で、

- ① 事業で必要とされるもの、②社会的に必要とされるもの、③運営として必要なものに絞り、検討の結果、5 年先を見据え、2018 年度に設定した目標を 2021 年度に改定し以下のように設定した。引き続き、5 年先を見据えた目標であるため、2025 年度も継続したい。

2018 年度に改訂し、2021 年度に作成したものを 2025 年度も継続

- ① HIV 陽性者の現在と老後を見据え、医療福祉サービス事業者への情報提供をしていく
- ② 検査率向上を目標に、年間 5,000 人に対して HIV / AIDS の情報を伝えていく
- ③ 「レッドリボンさっぽろ」の目指す社会を実現するために、認定 NPO 法人を取得する。

■ 2024 年度短期目標達成の評価と 2025 年度の短期目標

まず、以下のように提案をした 2024 年度の短期目標（中期目標の①～③に対応している）の達成度を、事務局で次のように評価した。全体的に目標達成に至らなかったが、目標達成を目指し活動してきたと評価している。

- ① HIV / エイズを取り巻くさまざまな環境や時代を鑑み、活動の内容を精査していく。

（達成度：★★☆☆☆）

→HIV 感染症の治療は大きく進歩し、HIV 感染症は慢性疾患の位置づけとなり、時代とともに HIV / エイズを取り巻く環境は変化しているが、当会は 1993 年の開設当初から大切にしている活動が多く、この令和時代に本当に必要な活動を実施できているのか、また伝える内容は時代に合っているのかなど検討するため、この目標に設定した。

活動の中で「新しい予防方法について」や「検査の種類について」など新しい情報を伝えてきたことは評価するが、実際の活動内容の精査はまだ必要と考える。また、活動の内容だけではなく、手当基準なども含め精査が必要と考えている。

- ② スタッフが参加しやすい勉強会を実施し、「HIV / エイズに関する知識」だけではなく、「感じる力」「考える力」「伝える力」などのスキルアップを図る。（2022 年度から改定し継続）

（達成度：★★☆☆☆）

→2023 年度の評価を鑑み、2024 年度も継続目標としたが、スタッフ向けの勉強会を開催することができなかった。しかし、アウトリーチや講演活動、他団体との連携を通じてスタッフそれぞれの感受性などを培ってきたと考えている。

引き続き、レッドリボンさっぽろとしての考え方を共通認識し、これからも同じ方向に向かって、活動していけるような体制を構築していきたい。

- ③ 活動の輪を広げるための会員数の拡大に向けて、アクセスしやすい環境を整備する。

（達成度：★★☆☆☆）

→これからも活動を円滑に進め、多角的な視点から活動を展開していくためにも、活動に参加できる会員を増やす目的で公式 LINE の使用等、よりアクセスしやすい環境を整える必要があると考え、この目標を設定した。しかし、公式 LINE アカウントの設定から進め

ず運用まで至らなかった。しかし、公式 LINE 運用を目指し、実際に公式 LINE を使用している団体に相談し情報収集をしていたことは評価している。

引き続き、会員拡大に向け、アクセスしやすい環境（会の運用規定なども含め）の整備が必要である（短期目標①にもつながる）。

以上のように、2024 年度の各目標の達成度を評価し、また中期目標を達成するために、2025 年度も継続していく必要があると考える。

そのため、2025 年度の目標を以下のように、検討した。2025 年度単年度で達成できることを念頭に置き、継続目標としたい。

以上の 2025 年度の短期目標 3 つを、事務局として提案したい。

【2025 年度 短期目標】

1. HIV/ エイズを取り巻くさまざまな環境や時代を鑑み、活動の内容・規定を精査していく。
(2024 年度から改定し継続)
2. スタッフが参加しやすい勉強会を実施し、「HIV/エイズに関する知識」だけではなく、「感じる力」「考える力」「伝える力」などのスキルアップを図る。
(2022 年度から改定し継続)
3. 活動の輪を広げるための会員数の拡大に向けて、アクセスしやすい環境を整備する。
(2023 年度から継続)